

第 10 回スリランカ紀行



第 10 回スリランカ紀行

スリランカ渡航も今回で 10 回目。今回も妻洋子と一緒に行く。

滞在は約 9 日間と決めて短い現地滞在となった。

2019 年 8 月 10 日

福岡空港 21 時 05 分 KE782 便で出発

韓国インチョン空港 23:55 発 KE473 便でコロンボへ向かう。

2019 年 8 月 11 日

スリランカ時間午前 4 時 30 分 コロンボ バンダラナイケ空港到着

いつものようにスージーワが迎えに来てくれている。

日本円をスリランカルピーに交換。 ルピー対 1.808 日本円

お天気は曇。ちょっと雨模様。

WDC に立ち寄ったあと、KCC で SIM を購入。Dialog で 850Rs。

アラガマには午後 3 時ころ到着。

今夜は初めてナイトペラヘラを見に行くことにした。

組紐の授業は明日から。

スージーワが夕方午後 5 時半迎えに来る。



キャンディ市内への近道の展望台からチュ
キャンディ市中心部を見る。
お天気は雨がしょぼしょぼ。

夜に本降りにならないかと気をもむ。



仏歯寺の前に場所を求めて 30 分ほど行っ
たり来たり。

スージーワの村の人達がいる場所で行列を待
つ。

人ごみをかき分け、待つこと約一時間半、
行列の先頭がいよいよ現れる。

露払いのむちの音、観客から小銭がまかれ

る。 それを拾いながら行列はゆっくり進む。

幸い雨は降っていない。

あたりは次第に暗くなり、行列は火の輪を回す曲芸団が通りかかり、だんだんと雰囲気
盛り上がる



上半身裸の男たちが、ヤシの実に油を詰めた火の輪を回し、投げ上げて受け止める。

観客からはバラバラと小銭がまかれる。



いよいよ象の行列がさしかかる。
満艦飾の象はダンスをしながら、ゆっくりと進む。



仏陀の「犬歯」を乗せた象が通過して、
クライマックスを迎える。

帰りはテイクアウェイのフライドライスで済ませる。

2019年8月12日

組紐の授業第1日目

フランセス先生、ラリタはいつもの通り。前回からメヌケも参加している。ほかにビノダニ、ラジャシュカラ、タルシ、シュリミラ、ラジャシュウェリ。ラリタとビノダニには新しいパターン小桜源氏を教える。ほかの子供たちは基本の28金剛組、それぞれ、ノルマを与えて、短い期間でやり遂げるように話す。昼食は新しくなった食堂で、先生たちと一緒に食べる。アンビカ先生は何かと気を使ってくれて、ヨーグルトやバナナを毎回すすめてくれる。

2019年8月13日

組紐の授業二日目

フランセス先生、ラリタ、ビノダニ、シュリミラ、タルシ、メヌケ、ディラクシ、ラジャシュウェリ。皆、この時期はペラヘラ祭りで浮かれて、授業に身が入らない。だれかが、交代でKCCのイベントに出かける。今夜はイワン・アルビスの家に招待されている。



彼の家はアラガマロード沿いのキャンディ市内に近い場所。国道から少し道を下ると静かな一軒家がある。イワンの奥さん、娘さん、大きな犬が迎えてくれて、お御馳走をいただいた。彼の絵本を日本で出版することを約束して戻る。

2019年8月14日

組紐の授業

今日はアラガマセンターはポヤデーでお休み。ポヤデーとは毎月十五夜ころにある休日のこと。でも、子供たちは稼ぎが欲しいので、みんな教室にやってくる。先生はお休み。洋子は主にメヌケにかかりつきり。しょっちゅう間違えるので、教えるほうも大変。ほかの子供たちも、メヌケを相手にしない。彼女のほうも決して負けてはいないのだが、思うようにできないので、くやしがる。



庭に来たマグパイ。
日本で見るセキレイに似た鳥。動作もそっくり。
地上をびよんびよんと移動しながら、えさを探す。

2019年8月15日（木）

今日はペラヘラ最終日で、8時半から10時までで、授業がおし子供たちや先生はバスでペラヘラ見物に行く。

こちらは洋子と散歩に出かける。
アラガマからキャンディ方面に向かって、歩く。
どこといってあてはない。

道路脇では牛が草を食べている。
つながれているわけではなく、夕方になると、自分で飼
い主のところへ戻る。
途中のカフェでカードを食べる。甘くて美味しい。



枯草に紛れて、トカゲが獲物を狙っている。
お昼ご飯にはパンとコーラを買って食べる。

宿に戻ると風邪気味ですっかり疲れてしまった。



宿舎前の国道は排水路の工事中。

左手門の中が少女たちの作業所。

8月16日（金）

組紐の授業最終日。

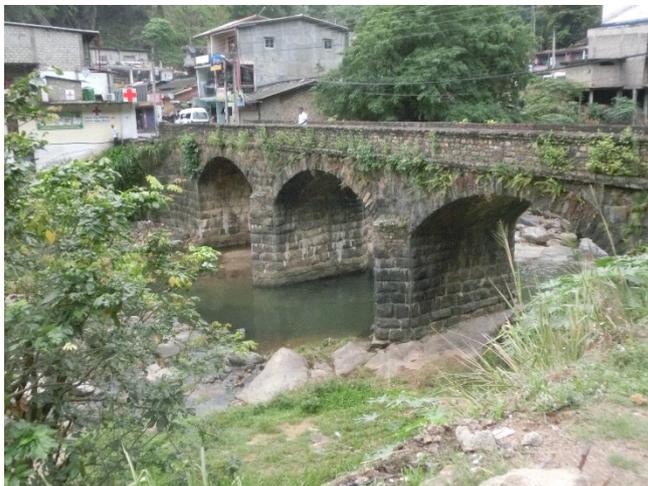
センターでシーツなどを購入。

子供たちの作品を評価。

サシさんは忙しくてなかなか会えなかったが、この日作業所に来てくれた。

Sthree で袋物などを購入して、予算オーバーしたため、今回の子供たちの組紐購入は **5,000** ルピーとすることで、了解してもらおう。

2019年8月17日（土）



早朝6時に出発。

キャンディからヌワラエリヤに向かう。

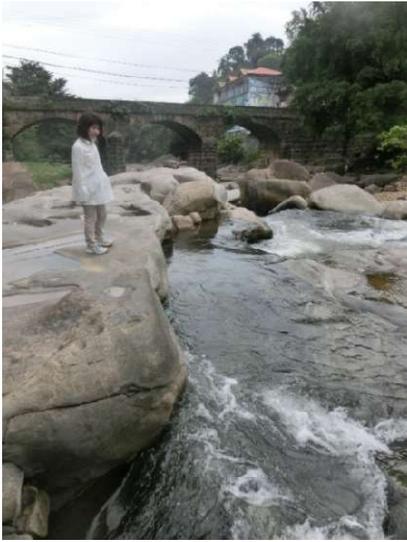
今回は自然公園に野鳥を求めて行ってみたい。

途中、溪流にかかる石橋の下に降りて、野鳥を探す。

ワラペインハングランケタの石橋
(WalapaneHanguranketa)

水の流れは速い。

向こう岸では、流れで顔を洗う人、洗濯をしている人が見える。



ビクトリア湖に流れ込む急流。



ヌワラエリヤに入ると、急斜面に茶畑が広がる。
茶摘みの女性たちが、こちらを見ている。

自然公園にて

市内に入る手前で自然公園に立ち寄る。



ここも外国人の入園料はすごく高い。二人で 5,000 ルピー
一弱。

雨模様の空。

ツキヨタケのようなキノコ

森の中ではなかなか、シャッターチャンスがない。



ざんねんながら頭が写っていない。

スジークは鳥を見つけて指さしてくれるが、私たちには見つけることができない。

写真を拡大すると、確かに緑色の鳥がいる。(下)



展望所へ登る途中の村では、家族がカメラにポーズをとってくれる。

ホテルの近くからヌワラエリヤの市内方向を見る。

ホテルに入ると洋子は寒気がして、気分が悪いと



言う。薄着して来たので夕食と着るものを探しにスジワと市場に出かける。



市場の中を馬が勝手に歩いている。
薄暗くなりかけた市場はまだ人がたくさんいる。

なにしろ寒い。気温は15度くらいか。
半袖シャツ一枚では大変。
暖かそうなジャケットを買ってホテルに戻る。



2019年8月18日(日)

キャンディへ戻る途中の八百屋で、ピーツを見つけて買う。

今朝になって洋子はやっと元気がでた様子。

ヒンズーの寺院に立ち寄る。
中では日曜学校があっている。
外には女性の服装について、スカート禁止などの表示がある。
帽子、靴は当然脱がなければならない。



コロンボ バンダラナイケ空港。
19時発のソウル行で帰国の途に就く。
このところ、空港は毎回改築されていて勝手がわからないことが多い

い。

テロ対策で、靴もベルトも脱がされる。

2019年8月19日（月）

午前九時半福岡空港到着。